

(第3種郵便物認可)

空手・尾立 世界で腕試し

空手の21歳以下世界選手権に女子日本代表として挑む尾立佳菜子。東京五輪出場も視野に入れる＝京都府京田辺市、同大



2020年東京五輪の追加種目に決まっている空手の女子日本代表候補に、加古川市出身で同大1年の尾立(おりゆう)佳菜子(19)が名乗りを上げている。今春から組手61kg級の全日本が名乗りを上げている。今春から組手61kg級の全日本の空手道場に通い始め、同市立神野小4年で年代別の強化選手となり、同階級6人の中では最年少。26日か敬愛高では2年時に大学生や社会人も参戦する全日本選手権(体重無差別)でベスト8に入った。

加古川出身19歳、26日からU-21選手権

五輪代表候補へ名乗り

では勝てない時期が続いた。攻撃的に自ら仕掛ける形が通用しなくなり、戦い方を模索。相手の動きを察知する反応の良さを生かし「行くよりも、引き込む」とカウンター型に転向すると、再び成績が向上した。全日本強化選手には今年4月に選ばれ、毎月、東京まで合宿に向く。国内外でトップレベルの選手と向き合つと、得意とする左の突きでさえ、完成度や迫力で劣ると痛感。審判への技の見せ方までを意識していると知り、日々の稽古に生かすようになった。

26日からはスペインで開催される「世界ジュニア&カデット、U-21(21歳以下)選手権」に挑む。伸び盛りの新星は「オリンピックにつなげる成績を」と、自ら未来を切り開く。

(有島弘記)